

別表 第2
2-1

地域・文化学研究科教育課程表

(令和2年度以前入学生に適用)

学年区分	I	II		備考
				<p>修了要件 32単位以上</p> <p>1 専攻科目(○特論、◎演習)8単位のほか、「特論」科目の中から24単位以上修得。</p> <p>2 修士論文の研究指導を受けるためには、課程修了予定の前年度末までに20単位以上を修得していること。</p>

別表 第2

地域・文化学研究科教育課程表

2-2

(令和3年度入学生に適用)

学年区分	I	II	学年区分	I	II	備考	
	○ 表象文化史特論 A 2 ○ 表象文化史特論 B 2 ○ 言語特論 A 2 ○ 言語特論 B 2 ○ 異文化コミュニケーション特論 A 2 ○ 異文化コミュニケーション特論 B 2 ○ 身体文化特論 A 2 ○ 身体文化特論 B 2 ○ 図像学特論 A 2 ○ 図像学特論 B 2 ○ 日本文学特論 I A 2 ○ 日本文学特論 I B 2 ○ 日本文学特論 II A 2 ○ 日本文学特論 II B 2 ○ 日本文学特論 III A 2 ○ 日本文学特論 III B 2 ○ 日本語特論 A 2 ○ 日本語特論 B 2 ○ 日本史特論 A 2 ○ 日本史特論 B 2 ○ 北方文化特論 I A 2 ○ 北方文化特論 I B 2 ○ 北方文化特論 II A 2 ○ 北方文化特論 II B 2 ○ 北方文化史特論 A 2 ○ 北方文化史特論 B 2 ○ 日本文学史特論 A 2 ○ 日本文学史特論 B 2 ○ 比較文化特論 I A 2 ○ 比較文化特論 I B 2 ○ 比較文化特論 II A 2 ○ 比較文化特論 II B 2 ○ 比較歴史特論 I A 2 ○ 比較歴史特論 I B 2 ○ 比較歴史特論 II A 2 ○ 比較歴史特論 II B 2 ○ 先史文化特論 I A 2 ○ 先史文化特論 I B 2 ○ 先史文化特論 II A 2 ○ 先史文化特論 II B 2 ○ 先史文化特論 III A 2 ○ 先史文化特論 III B 2 ○ 先史文化特論 IV 2 ○ 考古学専門実習 2 ○ 文化財の保存活用特論 2 ○ 文化学特論 2 ○ 企業文化の国際比較特論 A 2 ○ 企業文化の国際比較特論 A 2 ○ 事業創造論特論 A 2 ○ 事業創造論特論 B 2 ○ 地域活性化特論 A 2 ○ 地域活性化特論 B 2 ○ 地域経済学特論 A 2 ○ 地域経済学特論 B 2 ○ マーケティング特論 A 2 ○ マーケティング特論 B 2 ○ 企業経営と財務諸表特論 A 2 ○ 企業経営と財務諸表特論 B 2 ○ 情報科学特論 A 2 ○ 情報科学特論 B 2 ○ 地方自治特論 A 2 ○ 地方自治特論 B 2				○ 表象文化史特別演習 A 2 ○ 表象文化史特別演習 B 2 ○ 言語特別演習 A 2 ○ 言語特別演習 B 2 ○ 異文化コミュニケーション特別演習 A 2 ○ 異文化コミュニケーション特別演習 B 2 ○ 身体文化特別演習 A 2 ○ 身体文化特別演習 B 2 ○ 日本文学特別演習 I A 2 ○ 日本文学特別演習 I B 2 ○ 日本文学特別演習 II A 2 ○ 日本文学特別演習 II B 2 ○ 日本語特別演習 A 2 ○ 日本語特別演習 B 2 ○ 日本史特別演習 A 2 ○ 日本史特別演習 B 2 ○ 北方文化特別演習 I A 2 ○ 北方文化特別演習 I B 2 ○ 北方文化特別演習 II A 2 ○ 北方文化特別演習 II B 2 ○ 北方文化史特別演習 A 2 ○ 北方文化史特別演習 B 2 ○ 比較文化特別演習 I A 2 ○ 比較文化特別演習 I B 2 ○ 比較文化特別演習 II A 2 ○ 比較文化特別演習 II B 2 ○ 比較歴史特別演習 I A 2 ○ 比較歴史特別演習 I B 2 ○ 比較歴史特別演習 II A 2 ○ 比較歴史特別演習 II B 2 ○ 先史文化特別演習 II A 2 ○ 先史文化特別演習 II B 2 ○ 先史文化特別演習 III A 2 ○ 先史文化特別演習 III B 2 ○ 企業文化の国際比較特別演習 A 2 ○ 企業文化の国際比較特別演習 B 2 ○ 事業創造論特別演習 A 2 ○ 事業創造論特別演習 B 2 ○ 地域活性化特別演習 A 2 ○ 地域活性化特別演習 B 2 ○ 地域経済学特別演習 A 2 ○ 地域経済学特別演習 B 2 ○ マーケティング特別演習 A 2 ○ マーケティング特別演習 B 2 ○ 企業経営と財務諸表特別演習 A 2 ○ 企業経営と財務諸表特別演習 B 2 ○ 情報科学特別演習 A 2 ○ 情報科学特別演習 B 2		修了要件 32単位以上 1 専攻科目(○特論・○演習) 8単位のほか、「特論」科目の中から24単位以上修得。 2 修士論文の研究指導を受けるためには、課程修了予定の前年度末までに20単位以上を修得していること。